

NEWS RELEASE

ニュースリリース

2020年7月31日

記者クラブ 各位

静岡型 MaaS 基幹事業実証プロジェクト

～ 静岡型 MaaS 基幹事業実証プロジェクト ～ 将来ビジョンおよび 2020 年度実証実験の概要

静岡市の人口減少や高齢化社会が進行する中、新たなモビリティサービスの実現をめざす地域コンソーシアム「静岡型 MaaS 基幹事業実証プロジェクト」では、将来ビジョン・中長期計画を策定しました。

本プロジェクトでは、将来ビジョンとして「つながるまち、変わるあした」をコンセプトに掲げ、静岡の“あした”を真剣に考える企業・団体・市民の皆様とともに、人・モノ・情報・サービスをつなぎ、“移動”をより快適にすることで、2030 年を目標として暮らし続けられる「魅力的なまち」の実現を目指します。

昨年度より取り組んできた AI 相乗りタクシーの実証実験に引き続き、今年度は、公共交通の利便性を向上したい地域における AI オンデマンド交通サービス（※）の検証、with/after コロナ社会を見据えた検証、データ利活用の取組等を実施する予定です。

また、2020 年度実証実験の実施にあたり、国土交通省の「日本版 MaaS 推進・支援事業」および経済産業省の「地域新 MaaS 創出推進事業の先進パイロット地域」の募集に応募し、このたび支援事業として選定されました。今年度の本プロジェクトの取り組みの一部が各省の支援対象となります。

※AI オンデマンド交通サービス：AI 配車システムにより乗合運行するドア・ツー・ドアの移動サービス

記

1. 実施主体

静岡型 MaaS 基幹事業実証プロジェクト（代表幹事：静岡鉄道株式会社、代表幹事代理：静岡市）

※幹事 8 団体、オブザーバー 2 団体、技術会員 29 団体（参画手続き中も含む）にて構成

2. 将来ビジョン・中長期計画 ※詳細は別紙①－1、2、3 参照

○コンセプト 「つながるまち、変わるあした」

○目指すべき 5 つの方向性

1【自由】気の向くままに移動しよう 2【時間】心にゆとりを、暮らしにうおいを

3【安心】安心や快適をあたりまえに 4【ワクワク】近未来にワクワクチャレンジ 5【共創】私にもできることがある

○中長期計画における主な取り組み

1 連携によるサービス高度化 2 分野間の連携 3 モビリティの拡充と統合

4 データ利活用によるまちづくり 5 活動機運の醸成

○ロードマップ 2030 年を目標に暮らし続けられる「魅力的なまち」の実現を目指します

3. 2020 年度の取り組み概要 ※詳細は 9 月下旬頃公開予定です

○実証実験内容（予定）

①リアルタイム混雑情報・混雑予測情報の提供

・静鉄電車の主要駅のホームにセンサーカメラを設置してリアルタイム混雑状況を把握し、スマートフォンアプリ、駅構内に設置するデジタルサイネージ、本プロジェクト HP にて当該情報を情報提供

・過去の利用状況を参考に算出した混雑予測情報をスマートフォンアプリ、駅構内に設置するデジタルサイネージ、本プロジェクト HP で提供

②まちなかの賑わいづくりと連動した仮想ダイナミックプライシング

・実証実験参加者が駅構内のデジタルサイネージに表示された二次元バーコードをスマートフォンアプリで読み込み、ピークタイムから外れるほど割引率が高いクーポン（飲食・小売等）を取得・利用してもらうことで、ラッシュ時の混雑平準化を図る

③幹線乗合移動サービスと連携した AI オンデマンド交通サービス

・AI オンデマンド交通を用いて、移動手段を調達すると共にファースト・ラストワンマイルを補完するドア・ツー・ドアで便利・効率的な旅客サービスを提供
・AI オンデマンド交通を用いた買い物商品などの宅配サービスを提供し、需要・課題の把握をするとともに、移動サービスの新たな収益源としての可能性を検証する
・ETC2.0 データを活用し、天候等による道路交通への影響を踏まえた配車システムの更なる精度向上を図る

④自家用車運転スコアリング、データ取得

・自家用車の運転データを取得できる機器を配布し、一定期間利用して頂くことで高齢者などの参加者が自らの運転技術を確認できる運転スコアを提供し、安全運転啓発や公共交通への転換等を促す
・取得したデータを有効活用し、交通・まちづくり施策への活用可能性を検討する

○実験実施時期（予定）

2020年10月～2021年1月頃（③についてはこのうちの約2ヶ月間を予定し調整中）

○実験対象地域・参加者（予定）

①②静鉄電車、③④清水区草薙地区、庵原地区の一部

4. 2019 年度の取り組み結果

昨年度実施した「AI 相乗りタクシー実証実験」の検証結果です。詳細は別紙②-1、2をご覧ください。

5. 選定された支援施策

○国土交通省「日本版 MaaS 推進・支援事業」

→支援対象：上記3. ①②③に係る諸システム連携費用、分析費

○経済産業省「地域新 MaaS 創出推進事業の先進パイロット地域」

→支援対象：上記3. ④に係る調査・分析費

※本プロジェクトは、上記の両省から選定（2年連続）/両省からの選定は全国3都市のみ

6. 参照先

○しずおか MaaS ホームページ（<https://s-maas.jp/>）

○経済産業省「新しい地域 MaaS 創出を推進！令和2年度スマートモビリティチャレンジの実証地域を選定しました」ホームページ

（<https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200731005/20200731005.html>）

以上

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします	
プロジェクト事務局	静岡市の参画目的等について
静岡鉄道(株) CSV 推進室 □担当：岩本、佐々木、牧野 □直通電話：(054) 254-7026 □FAX：(054) 254-5510 □mail: shizuokamaas@gmail.com	静岡市 都市計画部 □交通政策課：望月、石倉、影山 □直通電話：(054) 221-1105 □FAX：(054) 221-1060